

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第96回研究会開催案内

日時：平成27年1月30日(金) 18:30 — 20:30

場所： エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：中村学園大学流通科学部 准教授 中村 芳生(なかむら よしお) 氏

略歴：1982年中央大学法学部卒業後、ジェトロ（現日本貿易振興機構）入社。88～89年海外研修生として

インドネシア大学、アトマジャヤ大学に1年間留学、帰国後海外調査部アジア大洋州課に。92年から4年間インドネシア・ジャカルタ事務所に駐在（第1回目）。その後、1996～99年本部情報サービス課等に勤務の後、99年には2度目のジャカルタ駐在で、事務所次長を務める。2003年帰任後、本部貿易開発部アジア支援課長、2005年～2010年熊本事務所長、その後本部ビジネス情報サービス部会員サービス室長、機械環境産業部主幹を歴任後、2013年4月に中村学園大学流通科学部准教授として、福岡に着任。2014年前期からの流通科学部アジアビジネスコース開設以降は責任者として、ASEAN諸国を中心とするアジアビジネスを学生に教えている。

テーマ：インドネシアと日本～歴史と経済関係を中心に（仮）

概要：今年10月20日ウィドド新大統領が就任したインドネシアは、2億4千万人の人口を抱え、アセアンの経済成長の中心的存在となっている。そのインドネシアを知るためには、現在の政治・経済を知るのみでなく、インドネシアが歩んだ歴史—17世紀パタヴィア（ジャカルタ）に拠点を置いたオランダの東インド会社の時代、オランダに対する独立運動、1942～45年の日本軍政時代、戦後の独立から現在までと歴史をたどることも大切である。本講演ではジェトロの駐在員として合計10年間ジャカルタに駐在した講師の目からみたインドネシアの歴史と現在を、①日本とインドネシアの特殊な歴史的関係…戦前、戦中、戦後にかけての日本人の活躍、日系インドネシア人の存在、②経済面からインドネシア…豊富な資源、人口大国、内需中心の経済成長、③インドネシアの抱える課題は何か？、と3つの視点を中心に語っていただく。今後の有望市場としてのインドネシアを理解する貴重な機会です。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会